



カンボジア便り

1 リティさん・交通事故と体調不良

当会の業務委託団体、ポンロック・タマイのディレクター、リティさんが7月中旬に交通事故に巻き込まれました。ご本人に怪我はありませんでしたが、同乗していたご兄弟の車が人身事故を起こし、事後処理に1週間ほど掛かり切りになりました。心労のせいか、その後1カ月程体調が優れず、本来の仕事であるカンボジア工業鉦山省も休んでいました。このため、現在進めている体育施設設置支援プログラム・幼稚園開設支援プログラムの進行は、初めに皆さんにお伝えした予定から大幅に遅れています。

2 体育施設設置支援プログラムの進み具合

これは、バレーボールコート・砂場・鉄棒をルセイサン小学校に設置するもので、材料費を当基金が負担し、工事は子どもたちと先生方でやろうというプログラムです。なお、

前回のニュースレターで「雲梯」とお伝えしたのは、工事の写真が届いて「鉄棒」



の誤りであることが判明しました。お詫びして訂正致します。リティさんの英文のEメールをこちらが考え過ぎてしまったという次第です。工事は7月中旬に始まりました。最初は砂場用の穴掘りと掘った土の片付けです。左に、子どもたちが熱心に、嬉しそうに働いている写真をご覧に入れます。

～目次～

カンボジアだより	
リティさん・事故と体調不良	1
体育施設設置支援プログラム	1
幼稚園開設支援プログラム	2
韓国からのお客さま	2
総会報告	3
アジア文化会館秋祭り	3
日中関係も視野に入れた活動を	4
第二回「ビビンの会」	5
本所緑星教会様よりご寄付	6
グローバルフェスタ2007	7
スタッフ紹介	7
事務連絡	8



鉄棒は9月に完成しました。

下の写真は早速遊んでいる子どもたちです



制服を着ていないのは夏休み中だからです

10月中旬の情報では、バレーボールコート・砂場の工事も完了したそうです。ただ、バレーボールコートはネットの支柱のコンクリートが固まらず、砂場は雨で濡れていて、使い初めは少し遅れるとのことでした。

3 幼稚園開設支援プログラムについて

前回のニュースレターで、3つの業者から見積りが出たことはお伝えしましたが、その後の進展はありません。残念ながらカンボジアの新学期である10月には間に合いませんでした。
(大澤)

韓国からのお客さま

8月のある日、韓国からイ・ジェウさんが来日されました。一昨年の総会にも来られた、韓国支部の中心メンバーの一人です。いまソウル大学大学院でコンピューター工学を研究中ですが、さらに外国留学を目指して資格試験を受けるための来日でした。早速スタッフ有志が集まって旧交を温めつつ懇談しました。韓国支部はスタッフたちの個人的事情のために、現在活動停止状態ですが、事情が好転したらいつでもまた再開したいと、日韓アジア基金に対する熱い思いを語ってくれました。

またある日、陽気でお茶目な女性スタッフ、チョン・ヘジさんが弟さんと遊びに来られました。アジア未来学校の開校式にも参加し、韓国でのいろいろなイベントの中心的リーダーをつとめた彼女ですが、いまは就職して忙しいようです。ありがたいことに、韓国支部がこれまで蓄えてきたお金を16万円持ってきてくれました。さらに嬉しいことには、日本で勉強中の、高校時代からの友人キム・ヒスンさんを紹介してくれて、キム・ヒスンさんは試験が終わったらこちらのスタッフになって下さるそうです。

「日韓の人びとが手を取り合って歴史の壁を越えよう」という私たちの願いは、こういう形でも、少しずつつながりながら実ってきていることを感じます。(波多野)

平成18年度 NPO法人日韓アジア基金・日本年次総会報告

(平成18年7月1日から平成19年6月30日まで)

去る9月23日、久しぶりに中国上海から日韓アジア基金代表禹守根（ウ・スグン）を迎え、総会を開催しました。当初、禹のあいさつはビデオレターの予定でしたが、当日は本人がじかにごあいさつ致しました。

会は新事務局長渡部友理恵の司会で、定足数の確認を皮切りに、禹のあいさつ、予定議題と続き、全議題異義なく承認され無事終了しました。

18年度収支報告及び19年度予算は別刷りをご覧ください。

“ABK インターナショナル秋祭り”に参加しました

10月27日(土)、留学生の寄宿舎であるアジア文化会館(ABK)にて、秋祭りが行われました。このお祭りは、アジア各国から来た留学生が、地域の人と交流をするために開催されます。当会は、ここ ABK を活動の拠点とさせて頂いております。その感謝の気持ちを込めて「韓国茶の無料サービス」と題し、出店させて頂きました。さあいよいよお祭りだ、と意気込んでいたのですが、まさにこの日、台風が来てしまいました。雨女ならぬ、台風女がいたのでしょうか？（決して私ではありません。）お祭りは館内で行われましたが、所狭しとアジア各国の屋台が並び、大変賑やかでした。また、広間の特設ステージでは、プロ級のモンゴルの民謡(ホーミー)や、衣装が素敵なタイのダンスなどといった華やかな出し物が、一層お祭りを盛り上げていました。

さて、当会のブースはと言いますと、四種類の韓国茶“ゆず茶・なつめ茶・うめ茶・生姜茶”（*早く売り切れた順）を、無料であることを大きくアピールしつつ、来場者の方や、留学生に振舞いました。皆さんどの味にしようかと、悩まれていました。この時、私たちスタッフの中でひそかな問題となっていたのは、“生姜茶”です。なぜなら、好き・嫌いの嗜好がはっきりと分かれたからです。例えば、「あまり好きではない」と言い、明らかに嫌そうな顔をするスタッフもいれば、「体が温まり健康に良く、おいしい」と勧めるスタッフもいました。皆さんは、どちら派でしょうか？また、なつめ茶の説明がうまくできず、「なつめって何ですか？」の問いに「お茶の味としては甘いです」などと言ってごまかしてしまいました。

留学生の中には韓国人の子もいて、当会に興味を持ってくれました。そこで“ビビンの会”担当スタッフが目を光らせ、次回の第三回ビビンの会に誘っていました。ABK への恩返しのために参加したこのお祭りですが、私たちスタッフもすごく楽しめました。どの料理もおいしく、お手頃価格だったので、みんな満腹になり、留学生とも交流をすることができ、大満足な一日でした。それぞれ生まれた国は違いますが、同じアジアに住む人として、みんなで作り上げたお祭りに、誰もが満足そうな顔をしていました。今日はその一員になれて、ABK に住む留学生、関係者の方々に、心から“ありがとう”と言いたいです。ありがとうございました。

(立山)

日中関係も視野に入れた活動を

代表 禹守根

(中国上海 東華大学教授)

皆さま、日韓アジア基金のウズグンです。

非常に久しぶりに紙面を通してごあいさつさせていただきます。まずお詫びとご報告をさせていただきます。

日本から離れても会員の皆さまとスタッフの皆さんの活動については、常にメールなどを通じて拝見しています。けれども個人的な理由によって私自身は、基金の活動に積極的に取り組めませんでした。このような状態にもかかわらず、“継続は力なり”というのでしょうか、“カンボジアの子どもたちに教育の機会を！”という当初の目標は着実に実践され、私は頭が上がりなくなる一方です。

幸いに皆さまのおかげで、今年の7月には無事に博士号も取得し、現在は、ほっとしながら今後について考えているところです。おそらく当分は、引き続きここ中国上海にある東華大学で教鞭を取ることにしたいと思います。これからは私たちの活動をもっと熱心にやらせて頂きたいと考えております。

さて、皆さまの活動を見ていると、“十年磨刀”という中国のことわざが頭に浮かんできます。訳せば「十年という長い歳月をかけてより優れた刀を磨く」という意味です。長い間ひたすら磨けば、その刀の出来栄は言うまでもないでしょう。まさにこの“十年磨刀”のような皆さまの変わらない活動には敬意を払うばかりです。

もちろん私たちの日韓アジア基金も、2001年の発足以来、さまざまな悩みと苦痛を経てきました。しかしそれはまさに、日本にいたとき私が好きだったウィスキーのように、“失敗が重なっていい味になる”ということでしょう。当時はつらかったですが、今になってみれば、それがあったからこそ今も私たちが活動を健全に継続でき、更なる今後の発展を計画出来るのではないかとも思われるのです。

「自分から離れてみれば、自分をもっとよく見える」と言われますね。同じく皆さんのそばから離れてウチの活動を見ている私には、しだいに私たちの活動も第二期を考える必要があるのではないかと思われたりします。このような考えは特に、ここ中国にきてから徐々に強く感じられてきました。

私たちが基金の活動に取り掛かった当時の日韓関係と今のそれを比べれば、日韓関係は随分良くなってきたと思われれます。特に日中関係と比較すれば、明らかでしょう。アジア地域の平和の定着および共同繁栄のためには言うまでもなく日中関係は欠かせないのが現実。このような角度から今度は、視野を日中関係の改善にまで広げてみるのはいかがでしょうか。自分のこともろくにできない私がまたこのように言い出すのも申し訳ないですが、こつこつと数年にわたって続けてきている皆さんのココロは、もっとより多くの人々に知らされ、それによってもっとより多くの人々が活動に参加され、更にもっとより多くの人々のための活動となって広がっていくための火種になれる尊さがあるからです。またそれは、国境を乗り越えた“I Love Asia”活動を目指す私たちの当初の目標にも適するので、これからはみんなで真剣に考え合うように提案したいのです。

第2回「ビビンの会～友だち作ろう～」

9月23日(日)総会后、「第2回ビビンの会～友だち作ろう～」を開催しました。今回は当基金の禹守根代表が上海から来日、禹代表を含む4名の韓国人と、中国人と日本人のお客さまがそれぞれ1名来て下さいました。これにスタッフ10名が加わり、合計16名でスタートしました。



楽しそうな他己紹介の様子

今回は主に「他己紹介」と「テーマに基づくグループディスカッション」を行ないました。他己紹介では、グループ内でペアを作って、それぞれが相手のことをインタビューします。そして聞き出した情報を元に皆に相手を紹介します。他人を紹介するというので、皆さん真剣にかつ笑いを交え

ながらインタビューしていました。紹介の時間では、お互いに特徴をとらえて分かりやすく説明し、一人一人の意外な面を知ることができて驚きや発見がありました。皆さん共通していたのは、日韓の協働や歴史、アジアの子どもたちへの貢献に興味・関心があるという点です。ビビンの会に集まった人々の思いを再確認する場面でした。

「ディスカッション」では、韓国と日本の習慣や文化の違いについてグループごとに自由に話し合ってもらいました。私のグループは、韓国人と中国人、日本人が同席



これからディスカッションが始まります

していたので、日中韓の文化の違いについて話し、とても面白かったです。最初に家族の話をしました。韓国では家族のきずなが強く、親戚とも頻繁に会うのが習慣となっているそうです。中国でも一人っ子政策の背景から、いとこと遊ぶことが多いなど、親戚同士の結びつきが非常に強いとのこと。その話を聞いて、

私は「最近、親戚に会ったのはいつだっけ？」と考えてしまいました。「今では冠婚葬祭ぐらいにしか会わないかな」「日本も戦後は助け合って、家族に対する意識が強かったかも？」などの意見も出て、日本はドライだなあと感じました。次にお正月の話をしました。韓国も中国も旧暦を大事にしている、旧暦でお正月を迎えます。中国ではその時期を春運と言って、爆竹や花火を上げて盛大に祝うそうです。どちらも伝統や文化を非常に大事にしている様子が伝わってきました。

話し合いが終わると、各グループで報告をし合いました。他のグループからは「御輿が出るなど神社のお祭りが韓国には無いので、日本に来たとき不思議に思った」「韓国では大学を卒業するのが遅い、海外で勉強してスキルアップしてから卒業するのが当たり前になっている」という意見が出て、私は驚きました。また、「日本ではいじめや親殺しなどのニュースを度々聞く」「大人は、知らない子どもに声をかけない方が良いという話を聞いて、ちょっとびっくりした。」という意見も出ました。お互いの違いをざっくばらんに話すことが出来て、もっと時間が欲しかったという声があり、嬉しかったです。

今回もまた、みなさん会話に夢中になり、お菓子が大量に余りました！しかし、第1回に比べて韓国人の参加者が少なかったのが残念です。国籍を問わず、いろいろな人と出会え、出会ってすぐに話し合えるのが、ビビンの会の良いところです。日韓交流に関心のある方、スタッフ一同、ご参加を心よりお待ちしております！！！！
(松田)

日本基督教団 本所緑星教会様からご寄付を頂きました

教会のバザーの収益をご寄付下さるといってお話に加え、活動の広報のお許しも頂き、9月30日にバザーに参加しました。

寒い・・・朝起きた私はちょっと憂うつな気分でした。雨降り、せっかくのバザーだけど人が集まるのだろうか？とも思いながら、教会へ向かいました。まずは教会員の方々にご寄付へのお礼と共に日韓アジア基金の活動内容をお話しさせて頂いたところ、関心をもって熱心に話を聞いて下さったのが印象的でした。

雨の中、それでもたくさんの方がバザーにおいでになり、中には毎年楽しみに



来ているという方もあって、本所緑星教会は地域と素敵な関係を築いているのだなあと思いました。皆さんが暖かい対応を下さり、今日初めてお会いした方々であることを忘れるくらい、居心地のいい楽しいバザーでした。大切なバザーの収益金を9万円寄付して下さい、本当に感謝して使わせて頂きたいと思います。

(矢崎)

冷たい雨、でも暖かい手作りの看板

グローバルフェスタ2007に参加



「さあ、これから」と張り切るスタッフ

を行っている、韓国に興味があって立ち寄って下さる人が多いように感じました。

私はスタッフとして初めて参加し、慣れないながらも当基金の説明をしました。人に説明することで、より、自分たちの活動が見えてきたのは発見でした。今回は昨年より半分の小さいスペースで活動しましたが、手応えは大きかったです。パンフレットやイベントをお知らせするビラは、二日間で合計500部あまりを配布し、積極的なアピールが出来たと感じています。訪れた人の中から、活動に参加して下さる人が一人でも多く出て欲しいです。予想以上の反響に、今から受け入れの準備をしっかりとやっていこうと思っています。訪れて下さった皆さま、ありがとうございます！

(松田)

10月6日、7日の二日間、日比谷公園で「グローバルフェスタ2007」が開催されました。私たちも出展し、広報活動を行いました。二日とも好天に恵まれ、活動に興味、関心を持ち、立ち寄って下さる方が多かったです。隣のブースが同じくカンボジアに教育支援をしている団体だったことから、そのついでにのぞいて下さる方もあり、また、お友達やご主人や奥様が韓国人であるという理由で、

訪れる方もありました。広報活動

スタッフ紹介

社会人 湯田亜里沙

「友だちとの間に国境はない」

それは一人の韓国人の女の子との出会いが私に教えてくれたことです。

私が日韓アジア基金のスタッフになったのは、留学していたカナダで韓国人留学生の友だちができ、「日韓」に興味を持つようになったからでした。それまでは私にとって韓国はただのお隣の国でした。それが彼女たちと出会ったことで、韓国がとても近く、そして遠い国になりました。語学学校の教室で机を並べ、つたない英語で他愛無い話をしながらも、日本と韓国の音楽、アニメ、映画などの文化交流は急速に進んでいる一方で、今もなお、心の中に残る歴史の壁を感じました。私にはお互いの国を行き来して、家族のように大事に想う韓国人の友だちとその家族がいます。海を隔てているけれど国境はありません。その代わり絆があります。この絆をいつまでも大切にしたいと思っています。10年後、20年後の日韓が今よりずっと良い関係を築けるように、日韓の架け橋の一端となって活動したいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



日韓交流イベント「第3回ビビンの会～友だち作ろう～」のお知らせ

12月22日(土)の午後2時からアジア文化会館にて行います。参加をご希望の方はvivimnokai69@hotmail.comまでEメールでご連絡下さるか、住所・氏名・国籍・性別・電話番号をご記入の上、郵便で、このページの下部にある<連絡先>住所までお申し込み下さい。

07年7月～10月までに会費・ご寄付を下さった方(敬称略・別枠を除き五十音順)

油谷 友加	内田 雄之	川崎由紀子	金 喜淳	鈴木 晶子	名原 壽子	前島 盛一	八坂 涼子
荒川 雄彦	江本 哲也	川辺 寛子	工藤 早苗	高橋 政行	並木 陽子	松井ふみ子	矢崎 芽生
井内 和夫	大澤 龍	韓国事務局	黒巢 香	高柳 直正	長谷川容一郎	松田 啓志	柳田 文子
井上 進	小川 昭子	菊池 礼乃	小久保多美子	田村 洋平	広瀬 徹孝	松本 昌幸	山沢 勲
岩見 豊子	片岡 彩子	菊池 貞子	越塚 忠巳	中島 智代	福島 忠男	村松 悦子	山本トシミ
潮田 耕一	加藤 郁雄	金 潤子	小山 百代	中田 美智子	古川起與子	矢頭千鶴子	米田 容子

株式会社スリーエーネットワーク代表取締役 高井 道博	ボランティア 野菊の会	ABKフェスタ募金
日本基督教団 本所緑星教会	グローバルフェスタ募金	

小山百代様からはお父上、吉川定男様のご遺贈で100万円を頂戴しています。
本所緑星教会様からは、3ページにあるように、バザーの収益のご寄付9万円を頂きました。
また韓国支部から16万円頂きました。

07年7月～10月までにフリーマーケットの商品を下さった方(敬称略)

谷池 教子

ご入会・ご寄付のお願い

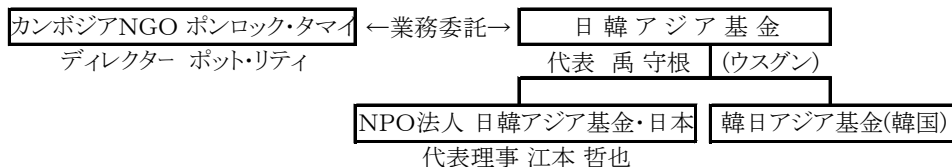
活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)
法人会員:年会費 1口10万円
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便局振替口座番号>
振込口座 00180-2-25153
口座名義 日韓アジア基金

- ・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権がございます。
- ・賛助会員:定期的にご支援頂ける方

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けいたします。
国内経費は全額スタッフ有志の寄付によっており、外部の方からのご支援は全てカンボジアに送っております。

日韓アジア基金の組織



<連絡先>

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内
Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)
E-メール: jkaf@ml.infoseek.co.jp HP: iloveasiafund.com/japan/

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也

会計報告・日本

平成18年度 日韓アジア基金・日本収支報告書
平成18年7月1日～平成19年6月30日
(単位:円)

No.	科目	金額
1	収入の部	
2	活動会費	88,000
3	賛助会費	382,000
4	法人会費	100,000
5	寄付金	738,151
6	助成金	0
7	補助金	0
8	預かり金	0
9	雑収入	19,253
10	収入合計	1,327,404
11		
12	支出の部	
13	事業費	
14	カンボジアプロジェクト	-
15	カンボジア送金	0
16	通信費	5,090
17	租税公課	0
18	行事費	27,680
19	広報費	189,194
20	事業費合計	221,964
21	管理費	
22	印刷製本費	1,100
23	荷造運賃	0
24	通信費	10,970
25	消耗品費	14,507
26	旅費交通費	0
27	会議費	21,233
28	教育研究費	10,360
29	図書資料代	0
30	雑費	0
31	租税公課	0
32	管理費合計	58,170
33	支出合計	280,134
34	収支差額	1,047,270

平成19年度日韓アジア基金・日本収支予算書
平成19年7月1日から平成20年6月30日まで
(単位:円)

No.	科目	金額
1	収入の部	
2	活動会員会費	108,000
3	賛助会員会費	380,000
4	法人会費	100,000
5	寄付金	780,000
6	雑収入	0
7	当期収入合計	1,368,000
8	前期繰越収支差額	1,091,823
9	収入合計	2,459,823
10		
11	支出の部	
12	事業費	
13	カンボジアプロジェクト	1,750,000
14	広報費(ニューズレター発行)	112,000
15	広報費(ホームページサーバー代)	41,790
16	広報費(グローバルフェスタ)	40,000
17	広報費(ABKフェスタ)	5,000
18	行事費(ビビンの会4回開催)	16,000
19	事業費合計	1,964,790
20	管理費	
21	会議費	21,000
22	通信費	11,000
23	消耗品費	15,000
24	図書資料費	3,000
25	教育研究費	10,000
26	雑費	5,000
27	管理費合計	65,000
28	支出合計	2,029,790
29		
30	当期収支差額	430,033
31	次期繰越収支差額	430,033

会計報告・カンボジア

平成18年度カンボジアプロジェクト収支報告書
平成18年7月1日～平成19年6月30日

単位ドル

No.	科目	金額
1	収入の部	
2	前期末残高	3,203
3	日本事務局送金	6,090
4	雑収入	410
5	収入の部合計	9,703
6		
7	支出の部	
8	人件費	2,570
9	地代家賃	900
10	自家用車費	463
11	通信費	260
12	会議費	9
13	雑費	11
14	水道光熱費	3
15	支出の部合計	4,215
16		
17	期末残高	5,488

平成19年度カンボジアプロジェクト収支予算書
平成19年7月～平成20年6月

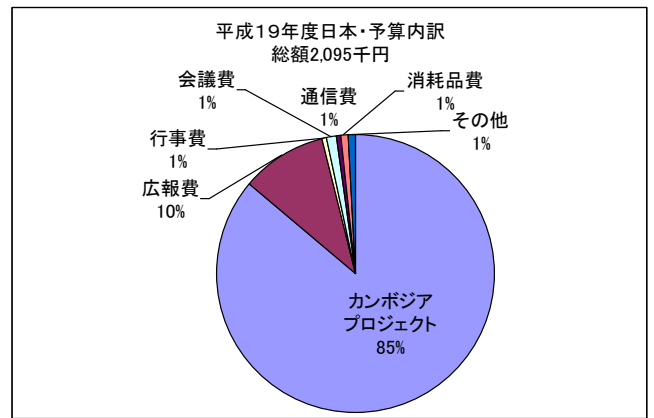
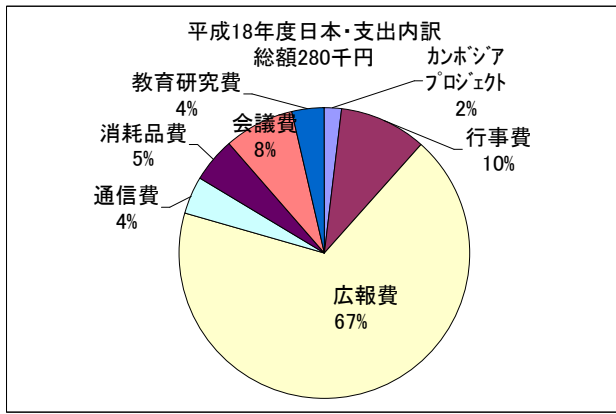
単位ドル

No.	科目	金額
1	収入の部	
2	前期繰越残高	5,488
3	日本支部送金	14,000
4	韓国支部送金	1,300
5	雑収入	50
6	収入の部合計	20,838
7		
8	支出の部	
9	臨時費	
10	幼稚園開設支援プログラム	15,000
11	体育施設設置支援プログラム	250
12	臨時費合計	15,250
13		
14	経常費	
15	人件費	3,170
16	地代家賃	240
17	自家用車費	460
18	通信費	310
19	会議費	10
20	雑費	10
21	経常費合計	4,200
22	支出合計	19,450
23		
24	期末残高	1,388

為替レートは125円/ドル(送金費用込み)と見込んでいます

お金の使い道を中心とした会計報告の説明

日本



- 17年度末のカンボジア残高が9,300ドルあったこと、現地の経費が大幅に減少したため、当年度は現地への送金の必要がございませんでした。従って、総額が例年度に比べ大幅に小さくなっております。
- カンボジアプロジェクトの内訳は、現地との電話代です。
- 行事費内訳

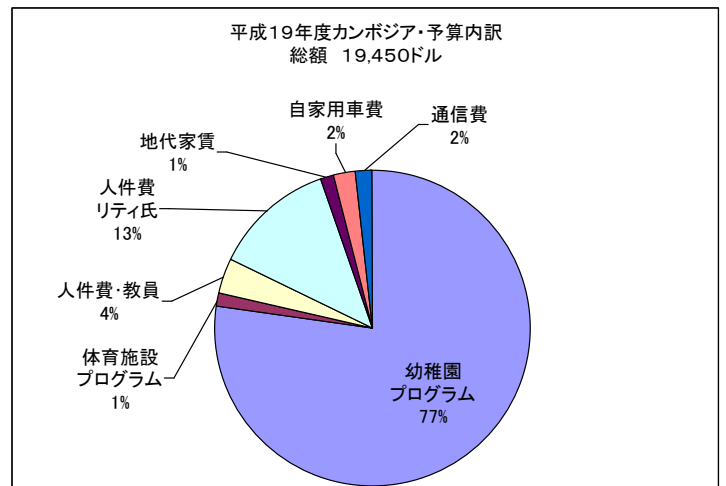
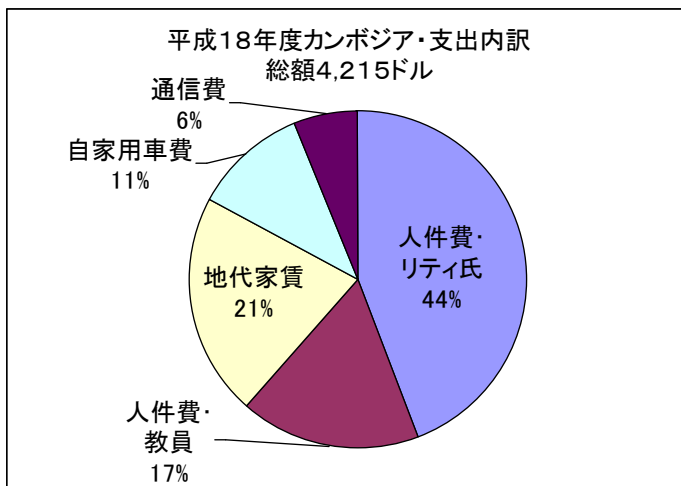
・当会主催イベント開催経費	3万円
---------------	-----
- 広報費内訳

・ニュースレター印刷・発送費用	10万円
・ホームページサーバー賃料	4万円
・外部イベント参加経費	4万円
- 教育研究費内訳

・各種研修及び他団体の活動報告参加料	1万円
--------------------	-----
- カンボジア送金を除く経費は、全額スタッフ有志の寄付によっております。

- 今年度は、カンボジアでの、幼稚園開設支援プログラム及び体育施設設置支援プログラムが実施されるため、現地への送金を175万円予定しております。この中には韓国支部からのお金16万円が含まれます。
- この結、果全体に占める事業費の比率は96%と、例年度とほぼ同じ水準になります。
- この異常とも言える高水準は、当会に有給職員が居ないこと、事務所家賃が無料であること、交通費を含む個人の経費は、学生を含め全て自己負担であることで達成されています。
- その他の費目は前年度並みと考えています。

カンボジア



- 当年度は、アジア未来学校以外のプログラムが実施出来なかったため、大きな出費はありませんでした。
- そのため、リティ氏及びアジア未来学校の先生の給与が全体の6割を占めています。
- その他の費目の内訳

・地代家賃: 昨年12月まで半年分の事務所家賃 (以降は、自動車を含む器材はリティ氏自宅に保管し、日本とのメールはインターネットカフェを使用しました)
・自家用車費: 自動車の燃料代及び整備代
・通信費: インターネット接続費とリティ氏の携帯電話通話料

- 今年度は、当会の活動地域にある、公立ルセイサン小学校の教育レベル向上支援プログラムが、ようやく具体化するため、この関連の予算が支出の8割近くを占めます。
- その他の出費については、次項以外は前年度後半とほぼ同等と考えております。
- 比率は小さいものですが、地代家賃は、20ドル/月の駐車場代です。これは、リティ氏が引っ越して、自宅に自動車を置く場所が取れないため借用するものです。